

久しぶりに兼轄国であるギニアビサウへの出張が実現しました。

ギニアビサウは、先般の大統領選挙で選出されたエンバロ大統領の下で、国の安定と発展の努力を続けています。我が国は国際機関や NGO と連携しながら、ギニアビサウとの協力を進めています。国の安定、食糧支援、地元住人の必要性に応えるための支援などを行っています。

出張中は、副首相と面談を行い、両国の協力関係について協議を行いました。また、学校給食を通じた食糧援助等の具体的な案件を実施している教育大臣とも意見交換を行いました。我が国の貢献に謝意を表すとともに、今後への期待も感じました。

国際機関とは、例えば、UNDP と連携して、最近の大統領や議会の選挙実施を支援しました。現在は、「平和維持のための強靱な制度構築計画」を開始しています。（同国ビサウ自治区及び南部 3 州において、国民議会の能力強化及び同国南部地域における司法へのアクセス強化を支援することにより、民主的な国家運営のための強靱な制度構築を図るもの）。国の安定と発展を実現するためにも、政府機関の能力強化は基本の基本です。今回は、UNDP ギニアビサウ代表と「ギニアビサウにおける医療・社会保障の向上による新型コロナウイルス感染症危機対応支援計画」（防護服等の医療関連器材の供与、専用コールセンターや追跡調査用アプリの支援及び、JICA が推進するカイゼン（KAIZEN）の導入等により、同国の衛生危機への対応能力強化への貢献を目指すもの）の関連プロジェクトの開始式を行うと共に、今後の進め方などについて協議を行いました。

食糧分野の援助も WFP を通じて行っています。主に学校給食の充実のための協力です。給食を提供することで、児童の栄養状況の改善に加え、就学率の向上に繋がります。今回は、今年度分の署名式（2 億円）と前年度分の供与式（魚の缶詰（140 トン）及び主要食糧（640 トン））を行いました。

きめ細かい支援を行うため、地元の NGO と連携した草の根無償資金協力を実施しています。平成 30 年度に供与したボートの利用状況を見てきました。ギニアビサウは、本土と 80 以上の島々で成り立っていて、連絡交通手段の確保がきわめて重要です。公船を除いて、これまでは住民の移動は木製の舟だけでした。時間もかかり安全性の問題もあります。この支援でアルミ製の船一隻を供与しました。30～40 人乗り、初めての金属製ボートということで便利に使っているとのこと。所要時間も半減した由です。

なお、東京オリンピックには、ギニアビサウから女子柔道選手 1 名、男子レスリング選手 2 名が派遣され健闘しました。女子柔道選手がホストタウンの岡山県総社市で歓迎された

様子は日本のニュースでも報じられ、日ギニアビサウ交流の素晴らしい機会となりました。

今後とも、ギニアビサウに対する支援を続けていきます。

